

防錆インサート工法 施工手順書（手動穿孔機使用時）

本書はサドル付分水栓の穿孔後に、穿孔部の保護を目的とした防錆インサート工法を手動穿孔機で施工するための手順書です。施工する前に必ずお読みになり、内容をよく理解した上で作業を行って頂くようお願い申し上げます。

●施工の前に

穿孔が終了したら、切粉排出バルブの開閉を繰り返し、排水流に脈動をあたえ、切粉を十分に排出して下さい。また、空管で穿孔した場合は、マグネットクリーナー等で穿孔部・分水栓内部の切粉を十分に除去して下さい。

* 切粉の排出が十分でない場合、インサートコアと穿孔部の間に切粉がかみ、インサートコアの施工に不具合が生じる可能性がありますので注意して下さい。（図1）

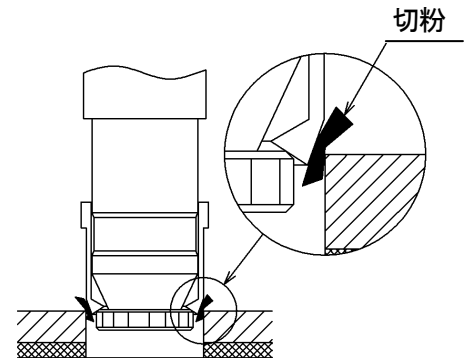


図 1

●施工方法

- 1) 穿孔機のスピンドルに給水分岐径に適合した挿入棒を工具でしっかり締め付ける。（写真 1）
- 2) 挿入棒先端の止めビスを外す。
- 3) 給水分岐径に適合したインサートコアであることを確認する。
- 4) インサートコアと挿入棒・止めビスに付着物（錆・異物・汚れ・砂・砂利・土・泥 など）および変形がないかを確認する。
- 5) 挿入棒にインサートコアを差し込み、止めビスでしっかり取り付け保持する。（図 2）（写真 2）
- 6) 穿孔機取付口の閉栓キャップを外し、給水管取出口に取り付ける。
- 7) サドル付分水栓の穿孔機取付口に呼び径に適合したアダプターを工具でしっかり締め付ける。
- 8) 穿孔機の送りを、必ず最上部まで戻した後、アダプターに穿孔機を取り付けて工具でしっかりと締め付ける。（写真 3）
- 9) 穿孔機の切粉排出バルブを閉じる。
- 10) サドル付分水栓をゆっくり開け、全開を確認する。（写真 4）
 - * サドル付分水栓が開いていない状態でインサートコアを施工すると、サドル付分水栓の止水性能に不具合が生じます。
- 11) 送りハンドルを反時計回りにゆっくり回して送りをかける。

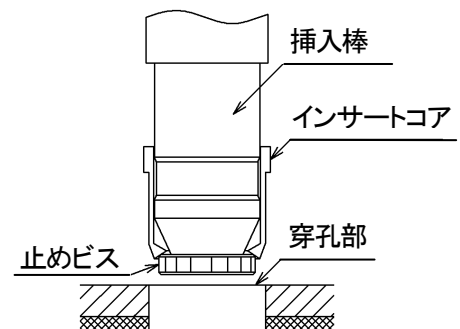


図 2



写真 1



写真 2



写真 3



写真 4

12) インサートコアが穿孔部に挿入され、インサートコアのツバ部が管表面に当たる。(図 3)

13) 送りハンドルを反時計回りに回して送りをかける。(写真 5)

* 挿入棒がインサートコア先端を押し広げる状態となり、送りハンドルに抵抗を感じます。

14) 抵抗を感じたまま、さらに送りハンドルを回して送りをかける。(図 4)

15) 大きな抵抗を感じたら穿孔機の送りを止める。(図 5)

* インサートコアの先端が完全に広がり配水管に固定されると一瞬抵抗がなくなりますが、やがて挿入棒のツバがインサートコアのツバに当たり大きな抵抗を感じます。

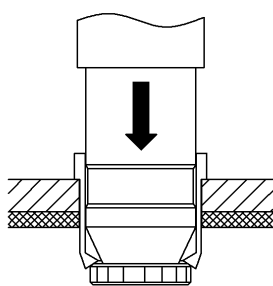


図 3



写真 5

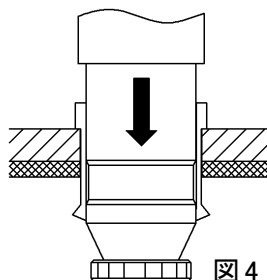


図 4

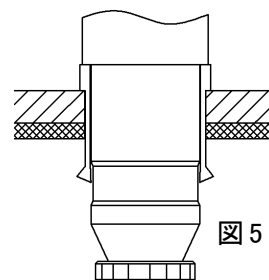


図 5

16) 穿孔機の送りハンドルを時計回りに回して、最上部まで挿入棒を引き上げる。

* 最初は送りに抵抗が感じられますが(図 6)、やがて抵抗はなくなります。(図 7)

17) サドル付分水栓をゆっくり閉じ、全閉を確認する。(写真 6)

18) 穿孔機とアダプターを取り外す。

19) 給水管取出口の閉栓キャップを外し、穿孔機取付口に工具でしっかり締め付ける。(写真 7)

20) 穿孔機・挿入棒および使用した工具の汚れ・泥・砂利・水分等を十分に拭き取り保管する。

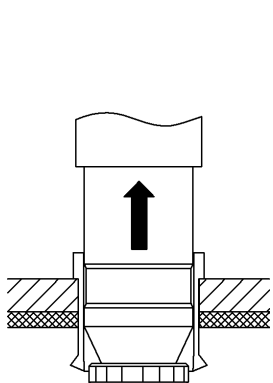


図 6

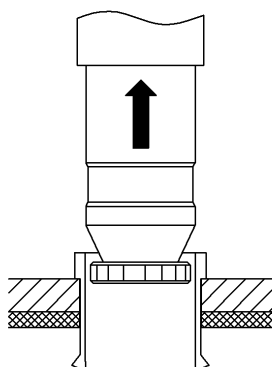


図 7



写真 6



写真 7

○ お問い合わせ・ご用命は、下記へ



前澤給装工業株式会社

本社 〒152-8510 東京都目黒区鷹番2丁目14番4号
<http://www.qso.co.jp/>

(03)3716-1511 (代表)